



2022 年度 活動報告書〔概要版〕



J-WAVE 81.3FM

「隅田川 森羅万象 墨に夢」とは

「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)は、すみだ北斎美術館の開館を機に 2016 年にスタートしたアートプロジェクトです。森羅万象を追い求めた葛飾北斎が 90 年の生涯を過ごしたすみだの地で、墨で描いた小さな夢をさまざまな人たちの手で色づけしていくように、芸術文化に限らず、あらゆる表現を行っている人たちがつながりながら、この地を賑やかに彩っていくことを目指しています。

「隅田川」と「北斎」を主なテーマに、すみだの地域資源を活用する企画を募り、河川空間や公園、店舗や公共施設など、さまざまな場所で多彩な活動を展開してきました。また、情報交換や交流の場としての「寄合」を毎月行うことで、人的ネットワークを形成し、連携による活動も促しています。

7 年目となる「すみゆめ」では、すみだのまちや隅田川の歴史、物語をリサーチして生まれた演劇やパフォーマンス、ワークショップでつくられた音楽、北斎に取材する作品、地域の記憶のアーカイブなど、参加性の高い企画が多くありました。展示や公演のほか、映像やオンライン配信による取り組みも実施し、幅広いアプローチを促しています。主催企画 2 件、公募によるプロジェクト企画 13 件、広報連携によるネットワーク企画 12 件の成果についてご報告します。

【実施体制】 主催:「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区
協賛:株式会社東京鋳兼、東武鉄道株式会社
助成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
(KOSUGE1-16「どんどこ! 巨大紙相撲〜北斎すみゆめ場所」)
メディア・パートナー: J-WAVE 81.3FM
事務局:公益財団法人墨田区文化振興財団

【期 間】 2022 年 9 月 1 日(木)〜12 月 25 日(日)

【会 場】 隅田川、隅田川テラス、隅田公園そよ風ひろば、すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)、すみだパークギャラリーささや、すみだ北斎美術館、すみだリバーサイドホール、大横川親水公園、北條工務店となり、本所地域プラザ BIGSHIP、両国門天ホール、UNTITLED space ほかに区内各所

【参加団体】 プロジェクト企画: 13 団体、ネットワーク企画: 12 団体

【来場者数】 延べ 114,232 名 ※ネットワーク企画の参加者数を含む

【視聴回数】 延べ 5,296 回 ※2023 年 2 月 15 日現在、ウェブ等の閲覧数は除く

「隅田川 森羅万象 墨に夢」2022 年度活動報告会

【日 時】 2023 年 2 月 25 日(土)13:30～17:00

【会 場】 すみだリバーサイドホール・イベントホール

【タイムテーブル】

13:30～13:45 実施概要／主催企画の活動報告

「隅田川 森羅万象 墨に夢」実施概要

すみゆめ踊月夜「すみゆめ踊行列」「うらないうら道」

KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

13:45～14:40 プロジェクト企画の活動報告(13 団体)

活動団体名	企画名
AGAXART	舞踏作品「北斎漫画の墨の囁き、街の響き」
uni	すみだ川ラジオ倶楽部 川を流れる七不思議編
ONA project room	汽水域/Kisuiiki
北野留美	盆踊りストーリーグ
一般社団法人藝と	ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—プラクティスプログラム 「共にあるところから / With People, Not For People」
さんぽチーム (野木青依 × MC.sirafu × 宮崎有里)	すみだのかたち
すみだパーク演劇部 扉座大人サテライト	夢劇アンソロジー 『イースト・すみだ・ストーリー4 ～作品探しの校外学習～』
一般社団法人 Token	螺旋の川
NPO法人トッピングイースト	隅田川に咲く花でヘッドドレスをつくってみよう！
北斎通りまちづくりの会	北斎祭り
みんな北斎プロジェクト	みんな北斎プロジェクト ワークショップ編 影絵で遊ぼう！2022
NPO法人向島学会	向島まちづくり資料館《準備室》
一般社団法人もんでん	両国橋アートセンター2022

14:40～14:50 ゲストコメント

大内伸輔(公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
事業推進室事業調整課 事業調整係 係長)

小澤慶介(アート代表、インディペンデント・キュレーター)

佐藤慎也(日本大学理工学部建築学科 教授)

久野敦子(公益財団法人セゾン文化財団 常務理事)

15:00～16:40 オープンミーティング

テーマ①「公共空間を使った企画、何ができたか、どう考えたか」

テーマ②「アートプロジェクトの伴走支援とは？事務局も考えます!!」

1 すみゆめ踊月夜

■企画概要/実施内容

隅田川沿い、隅田公園そよ風ひろばから牛嶋神社の周辺に至るまで、踊りとうらないの場を開いた2日間。そよ風ひろばを舞台とした「すみゆめ踊行列」では多彩な歌い手や演奏家を迎え、耳馴染みある音頭からオリジナル楽曲の数々を生演奏、町会の太鼓や木遣りなども登場し、地元の踊り手の皆さんとともに多くの方々が櫓を囲み、まるく輪になって踊りました。懐かしい歌に故郷のお祭りを想い、鎮魂の舞を静かに見つめ、出店の輪投げを楽しむなど、来場者それぞれに過ごす時間となりました。

併行して公園のあちらこちらでは、独自のうらないを供する6組のアーティストが出現して「うらないうら道」を展開。アーティストと一対一で向き合う遊びのようなコミュニケーションの中に、過去・現在・未来を映し出したり、明日の振る舞いを決める手掛かりを告げられたり、自らの選択が結果につながる仕掛けもあって、この時限りの共創的な体験の場が生まれました。

【すみゆめ踊行列】



撮影：金子愛帆

団体名	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
実施日	①踊り練習 9月11日(日)、19日(月・祝)、 26日(月) ②本番 11月5日(土)14:00~20:00 11月6日(日)14:00~19:00
会場	①本所地域プラザ BIGSHIP ②隅田公園そよ風ひろば
参加者数	①128名 ②5,000名

プロデュース：岸野雄一

出演者：ジントラムータ[こぐれみわぞう、大熊ワタル、服部夏樹、木村仁哉、イトケン、サルディ佐藤比奈子、小山理恵(11/5)、関島種彦(11/6)]with 小林太郎(11/5)/久下恵生(11/6)、民謡クルセイダーズ、モノガタリ宇宙の会、Donuts Disco Deluxe[ANI/ロボ宙/AFRA]、にゃんとこ、中西レモン、柳家小春、山田参助、Likkle Mai、山口屋佐七、炎上寺レイコ、南牧夫、江戸消防記念会 第六区六番組、お囃子・一睦囃子/獅子舞・寿獅子、パピポズ、本所魁太鼓、日本ラテンアメリカ友好協会、よへほ節(山鹿灯籠踊り)

【うらないうら道】



撮影：富田了平

団体名	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
実施日	11月5日(土) 16:00~20:00 11月6日(日) 15:00~19:00
会場	隅田公園内各所
参加者数	11月5日(土) 80名 11月6日(日) 90名

企画・構成：居間 theater

参加アーティスト：居間 theater+荒木知佳(俳優・書道)、今和泉隆行 | 地理人(空想地図作家)、遠藤麻衣(俳優・美術家)、しば田ゆき(パリスタ)、たくみちゃん(アーティスト)、福田毅(俳優)

出演：橋本和加子/pinpin co(11/5)

2 KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」



撮影:427FOTO

団体名	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
実施日	①巡業:11月12日(土)、13日(日)、 19日(土)、20日(日) ②本場所:12月18日(日)
会場	①きらきら会館、東駒形コミュニティ会館体育室、北條工務店となり、すみだ北斎美術館 MARUGEN100(講座室) ②すみだリバーサイドホール・イベントホール
参加者数	①巡業:175名 ②本場所:200名
	YouTube ライブ視聴数:648件

■企画概要/実施内容

今年で4回目となる「どんどこ！巨大紙相撲」。区内4カ所(キラキラ橋、東駒形、東向島、亀沢)に設けた部屋で「巡業」と称するワークショップを行い、ダンボールで身長180cmの巨大力士を制作、四股名や得意技もユニークな巨大紙相撲力士が32体誕生しました。

本場所では会場に力士制作チームを迎え、皆で土俵をたたきながらトーナメント方式で取組を進行。WEBには事前に力士名鑑を公開して、人気投票や優勝力士予想を募りました。当日は親方による解説、呼出や元・力士による太鼓や相撲甚句の披露、弓取式の実演も交えて、すみだに息づく相撲文化を紹介するとともに、地元事業者がタニマチとして懸賞品を授与しました。コロナ禍の中、独自に開発したオンラインによる「電子どんどこ！」も用い、来場できなかったチームの参加や地方からの友情出演によるエキジビションマッチも実現。YouTube ライブ配信とアーカイブで、すみだならではの企画の楽しさを発信しました。

※巨大紙相撲力士は大相撲一月場所(2023/1/8～1/22)の期間、国技館に展示(観覧数:約4,000人)。

プロジェクト企画

3 舞踏作品「北斎漫画の墨の囁き、街の響き」



団体名	AGAXART
日程	① ワークショップ:9月17・21・24・28日 ② ライブパフォーマンス:11月4日～6日 ③ 映像作品配信:11月18日～12月25日 ④ 公演映像配信:12月6日～25日
会場	① すみだ生涯学習センター(ユートリヤ) ② 北條工務店となり ③ YouTube ④ Vimeo
参加者数	① 参加者 59名 ② 来場者 145名 ③ 視聴数 865回 ④ 購入者 18名

■企画概要/実施内容

人々の日常を描き芸術に仕上げた北斎漫画に着想を得、舞踏作品を公演と映像という形で制作しました。北斎漫画を題材とし、舞踏の基礎を紹介するワークショップを開催しました。元工場を会場にワークショップ受講生も交えてライブパフォーマンスを上演しました。映像では墨田区の工場を取材し、職人の働く姿などすみだの日常が舞踏と交差する作品を制作し配信しました。また、公演の記録映像も配信しました。

■日頃の活動

舞踏の世界で20年以上のキャリアを持ち、数々の作品を国内外で発表している我妻恵美子によるプロジェクト。身体を通して言語化できない心と向きあい、多様性を認め合う場を創出することを目的とし、舞踏の身体操法を主軸とするワークショップ、公演、イベントを開催しています。また、フィールドワークから舞踏作品を生み出す創作手法を得意としています。

4 すみだ川ラジオ倶楽部 川を流れる七不思議編

	団体名	uni
	日程	①音声作品公開 11月19日～12月25日 ②プレイベント(公開収録)11月5日 ③関連イベント(収録WS)11月20日 ④関連イベント(ガイドツアー)12月11日
	会場	①特設サイト及び視聴スポット(両国リバーセンター、墨田区役所うるおい広場、北十間川河川テラス、すみだリバーウォーク、桜橋、白髭橋のたもと、旧綾瀬川との合流点) ②隅田公園そよ風ひろば ③清州橋東詰下流 Lyuro 東京清澄付近 ④隅田公園～桜橋
	参加者数	①視聴数 707回 ②リーチ数 30名 ③参加者 17名、視聴回数 39回 ④4名

■企画概要/実施内容

「隅田川沿いのどこかでひっそり放送されている個人ラジオ」という設定の音声演劇作品を7つ制作し、オンライン配信しました。観客は舞台となった場所や好きな場所で、その作品を視聴することができます。プレイベントでは「すみゆめ踊月夜」の会場にてミニラジブースを設置し、本作の周知に努めました。また、参加者にお便りを書いてもらい俳優が収録の中で紹介する収録WSや、製作陣による作品解説付きで視聴スポットをめぐるツアーなどの関連イベントも開催しました。

■日頃の活動

人と土地、人と人をつなぐ「場づくり」というコンセプトのもと、劇場の外＝まちを舞台に、リサーチやフィールドワークを重視したプロジェクト型の作品制作に取り組んでいます。特に「話を聞くこと」に重きを置き、地域の人との協働を柱とする創作プロセスが特徴。メンバーは地域計画や保育、障害福祉とアート、グラフィックデザインなど舞台芸術以外の専門性を持ちあわせており、領域横断的なまなざしで企画を設計しています。

5 汽水域/Kisuiiki

	団体名	ONA project room
	日程	①ユーリア・スコゴレワ個展 9月30日～10月2日 ②荒井佑実個展 10月28日～30日 ③近あづき個展 11月25日～27日 ④齋藤帆奈個展 12月9日～11日
	会場	UNTITLED space
	参加者数	①来場者 180名 ワークショップ 10名 ②来場者 120名 ワークショップ 1名 ③来場者 100名 ワークショップ 2名 ④来場者 70名 ワークショップ 5名

■企画概要/実施内容

北斎作品に深く関わりながら多くを知られていない娘、葛飾応為をテーマに4人の女性作家の個展を開催しました。ユーリア・スコゴレワは「娘と父の関係性」、荒井佑実「隠された女性の声」、近あづきは「親から継承された技」、齋藤帆奈は「仙女になろうとした応為」をテーマに、リサーチに基づく新作を発表。関連ワークショップも実施しました。

■日頃の活動

アーティストのエヴェリナ・スコヴロンスカを中心に、個人の作家やキュレーターが集まり、ポップアップ形式の展覧会を開催することで、女性を自認するアーティストにスポットライトをあてる活動をしています。2021年の発足以来、曳舟の UNTITLED SPACE 内ギャラリースペースで11回の展覧会を開催し、女性作家たちの多様な視点を紹介してきました。日英バイリンガルでの情報発信により、墨田区へのアートシーンのみならず幅広い鑑賞者にリーチできる機会を設けています。

6 盆踊りストーブリーグ



団体名	北野留美
日程	12月11日(日)
会場	本所地域プラザ BIG SHIP 多目的ホール
参加者数	62名

■企画概要/実施内容

隅田川にちなむ物語「梅若伝説」を歌詞にした江州音頭を創作し、生唄生演奏で踊るワークショップを実施しました。まず、江州音頭の歴史や構造を解説し、今回作詞した歌詞や「梅若伝説」の舞台・鐘ヶ淵のリサーチなどについて説明。続いて、江州音頭特有の囃子言葉や踊りを練習しました。最後に、生唄生演奏に合わせて、梅若伝説をイメージした照明の中、輪になって踊りました。

■日頃の活動

日常のくらしや文化の中にある先人の知恵や工夫に関心を持ち、地域のくらしの道具や芸能についての聞き書きや実践を通して、文化を未来につなげることを目指して活動しています。東京にて、関西の盆踊り唄・江州音頭を研究するモノガタリ宇宙の会に加入。地域で起こったことを詠みあげてゆく口説き形式の盆踊りが現代の地域社会で潤滑油となる可能性を模索しています。

7 ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—プラクティスプログラム 「共にあるところから / With People, Not For People」



撮影：加藤甫

団体名	一般社団法人藝と
日程	① 展示：11月5日、6日、11日～13日、18日～20日、23日、25日～27日 ② オンライントーク：11月20日 ③ オープンディスカッション：11月26日
会場	① 興望館別館 ② YouTube ③ 興望館本館
参加者数	① 来場者 329名 ② 視聴数 318回 ③ 参加者 18名

■企画概要/実施内容

アーティストの碓井ゆいが、興望館が創立以来保管する活動記録等の資料を元に、刺繍作品と架空の職員日誌を創作し、インスタレーションとして発表。元となった資料もあわせて展示しました。制作過程では、職員や学童クラブを利用する児童・保護者との共同制作を行いました。また、関連イベントとしてトークイベントを開催し、福祉と文化のつながりについて考察しました。

■日頃の活動

2018年より墨東エリアと呼ばれる墨田区北東部で“学び”をテーマにしたプロジェクト「ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—」(通称：ファンファン)を実施しています。ファンファンは、この街に集まる人々とアーティストや研究者の対話を通して、墨東エリアを“学びの場”に見立て、豊かに生きる方法を探るプロジェクトです。

8 すみだのかたち



団体名	さんぽチーム (野木青依×MC.sirafu×宮崎有里)
日程	①さんぽとミニライブ 9月17日、24日、10月1日 ②すみだのかたち 12月9日(金)～11日(日)
会場	①錦糸町～押上エリア 東向島～曳舟エリア 押上～京島～八広エリア ②すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)
参加者数	①35名 ②350名

■企画概要/実施内容

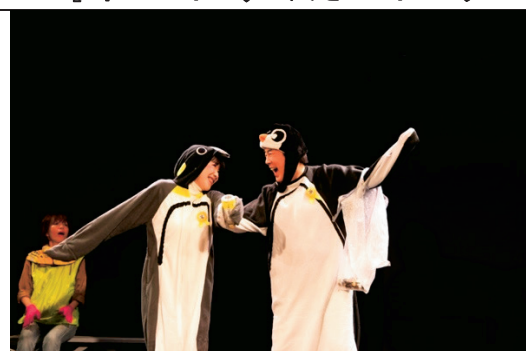
マリンバ奏者・野木青依とスティールパン奏者・MC.sirafu が、すみだのまちを散歩しながら見つけたものや感じたことを元に即興演奏をするプロジェクト。秋には参加者と一緒に区内3ルートを歩き、写真やふりかえりの会話から着想を得て即興演奏をしました。12月には会場を墨田区の地図に見たてて写真などを配置し、演奏家が3日間滞在して参加者との交流や演奏を行いました。

■日頃の活動

マリンバ奏者・野木青依、スティールパン奏者・MC.sirafu、アートマネージャー・宮崎有里によるチームです。2021年度すみゆめプロジェクト企画「マリンバさんのお引越し」で、喫茶ランドリーにて野木青依とMC.sirafuが即興セッションをしたことがきっかけで結成されました。日常の中に音楽が入っていくような企画を行っています。

9 夢劇アンソロジー

『イースト・すみだ・ストーリー4 ～作品探しの校外学習～』



団体名	すみだパークスタジオ演劇部 扉座大人サテライト
日程	11月10日(木)～13日(日)
会場	すみだパークギャラリーささや
参加者数	出演者30名、来場者426名

■企画概要/実施内容

新規部員7名を加え総勢30名で、すみだにまつわる短編劇10作品(新作9作+過去作のブラッシュアップ1作)をオムニバス形式で上演しました。今回は地域との関わりをより深めるために、作家・演出家・キャストが、すみだ水族館、言問団子、寺島茄子について取材。さらに昨年のすみだ北斎美術館に取材した内容もあわせ、オリジナル作品9作を創作・上演しました。

■日頃の活動

2019年4月発足。スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」等を手がける劇作家・横内謙介率いる劇団扉座と、墨田区内の演劇のリハースタルスタジオとして25年の歴史を持つすみだパークスタジオ(ベルモック)がコラボし、「大人の部活動」をコンセプトに、50歳以上の大人を対象に演劇のワークショップを開催しています。

10 螺旋の川



団体名	一般社団法人 Token
日程	11月19日(土)、20日(日)※12月17日に延期・雨天中止
会場	隅田川、北十間川、神田川、日本橋川
参加者数	50名

■企画概要/実施内容

日没後の川を船でめぐりながら、アーティストによって仕掛けられた音声ガイド、パフォーマンス、朗読作品、展示作品とともに、川によって形づくられた出来事の断片を体験するパフォーマンスクルージングを実施しました。各作品は実施場所周辺のリサーチを経て制作され、作品と場所が分かち難く結びついているため、川沿いの人々や風景までもが作品の一部に見えてきます。このような作品を通して、見慣れた風景を別の視点で見つめ、すみだの魅力を再発見する機会をつくりました。

■日頃の活動

国内外で活動する美術家に製作の場と、市民に開かれた発信の場を提供することを目的に活動しています。2019年にオープンしたToken Art Centerでは、現代アートの分野で活動する新進気鋭の作家の展覧会を定期的に開催しています。

11 隅田川に咲く花でヘッドドレスをつくってみよう！



団体名	NPO法人トッピングイースト
日程	10月9日(日)
会場	築地本願寺慈光院 都立横網町公園
参加者数	27名

■企画概要/実施内容

日頃の活動を通して、子ども世代とシニア世代それぞれと関係性を築いてきたことを踏まえ、今回は両者の交流の場をつくることを目指して、ワークショップを行いました。ドラッグクイーンを講師に招き、日頃手入れしている隅田川テラスの花でヘッドドレスを製作。それを身に纏い、街をランウェイに見立てて練り歩き、その姿をポートレート作品として残しました。

■日頃の活動

墨田区両国地域を中心に響きの美しい鮮やかな音粒を東東京エリアに振りまきながら、音楽がまちなかでできることを拡張していくことを目的にさまざまなプログラムを展開しています。2021年には東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム TokyoTokyoFESTIVAL スペシャル 13『隅田川怒涛』の企画制作・運営を担当。また、子どもの居場所づくりやフードパントリー、隅田川テラスの花壇を手入れする花守活動も行っています。

12 北斎祭り



団体名	北斎通りまちづくりの会
日程	①弘前ねぶた・金魚ねぶた展示: 9月1日～12月25日 ②弘前ねぶた絵展示: 9月27日～10月26日 ③灯りのフェスティバル: 10月15日 ④金魚ねぶたづくり・保育園児Tシャツ展示・北斎人生双六: 10月22日 ⑤シンポジウム: 11月26日
会場	①墨田わんぱく保育園、東武ホテルレバント東京、東京東信用金庫両国支店、渡辺パイプ株式会社両国ビル、墨田みどり保育園、第一ホテル両国 ②渡辺パイプ株式会社両国ビル ③大横川親水公園 噴水広場 ④⑤すみだ北斎美術館 MARUGEN100(講座室)
参加者数	①580名 ②300名 ③800名 ④100名 ⑤24名

■企画概要/実施内容

弘前ねぶた関連作品を区内複数箇所で展示し、弘前とのゆかりを軸とした亀沢の歴史を発信しました。灯りのフェスティバルでは地域住民に絵を描いていただいた行灯袋を使用したり、金魚ねぶたづくりの際にはすみだ水族館の出展協力をいただくなど、地域連携を図りました。また、「景観まちづくりから地域コミュニティを考える」をテーマに、藤井さやか氏(筑波大学)による講演と参加者を交えた意見交換を行いました。

■日頃の活動

すみだ北斎美術館がある墨田区亀沢において、景観まちづくりとまちの活性化について地域住民が考え、主体的に活動する団体です。住民同士の連携を深め、誇りと愛着を持てるまちづくりを目的として 2005 年に設立し、墨田区の「地区まちづくり認定団体」として活動しています。2020 年度都市景観大賞(国土交通大臣賞)受賞。2021 年度墨田区環境改善功労者表彰。

13 みんな北斎プロジェクト ワークショップ編 影絵で遊ぼう！2022



団体名	みんな北斎プロジェクト
日程	①スクリーン制作 9月29日(木) ②影絵ワークショップ 10月22日(土) ③影絵体験 10月29日(土)
会場	①カラコネオフィス ②きらきら会館 ③隅田公園そよ風広場
参加者数	①8名 ②66名 ③630名

■企画概要/実施内容

福祉作業所カラコネオフィスの利用者を対象に、影絵用スクリーンに花火柄のろうけつ染めを施すワークショップを実施。また、一般参加者を対象に、工作用紙や色セロファン等でお面やマントをつくり、それを身につけて影絵で遊ぶワークショップを実施しました。また、隅田公園では落ち葉も使って影絵用のかぶり物を製作。日没後には光の仕掛けを公園内各所に設置し、誰でも影絵で遊べるイベントを実施しました。

■日頃の活動

すみだ北斎美術館の開館記念プロジェクトとしてスタートし、北斎が生きたすみだから新しい障害者アートの波を起こそうと全国障害者アート公募展「みんな北斎」を実施。その後 2017 年からはワークショップで生まれた作品を素材にアニメーションを制作しています。障害のある人が区内で文化・表現活動できる機会を増やし、活躍の環境と循環をつくることを目的に活動しています。

14 向島まちづくり資料館《準備室》



団体名	NPO法人向島学会
日程	①オープンデー 9月17日、10月1日、15日、29日、 11月12日、26日、12月10日、17日 ②向島古老・アーティストの話を聞く会 9月3日 ③報告会&シンポジウム 12月3日(土)
会場	①北條工務店となり ②向島百花園、YouTube ③すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)
参加者数	①来場者 47名 ②視聴数 26回 ③来場者 132名

■企画概要/実施内容

向島のまちづくりに関する資料館の準備プロジェクトとして、定期的に拠点の一般公開日を設けながら、拠点整備及び資料の収集・整理を行ないました。また、向島のまちづくり・アートプロジェクト関係者のオーラルヒストリーを収録・公開しました。報告会&シンポジウムでは、今回の活動を振り返り、アーカイブの残し方や活かし方についてディスカッションしました。同会場には、これまで収集してきた資料や書籍を展示し、来場者に自由に手にとっていただけるようにしました。

■日頃の活動

東京の下町・向島エリアの個性ある街並みや産業、コミュニティに息づく新旧の文化など、地域資源の持つ魅力を活かしながら、活気がみなぎる暮らしやすいまちをつくることを目指して、2002年に活動開始。地域住民、まちづくりの専門家、アート関係者、学生等多様なメンバーが参加し、向島エリアのまちづくりにおける「プラットフォーム」として、地域資源の情報収集と提供、地域活性化活動の支援、住まい・まちづくりに関する調査研究、アートとまちに関する講座やイベント、海外も含む様々な市民団体との交流に取り組んでいます。

15 両国橋アートセンター2022



団体名	一般社団法人もんでん
日程	①軒先インフォメーション 9月1日～12月25日 ②ストリートピアノすみだ川 2022 11月26日(土)、27日(日)
会場	①両国門天ホール ②隅田川テラス (両国リバーセンター付近)
参加者数	①SNS フォロワー(チラシ閲覧者) Facebook 1,194名 Twitter 1,483名 ②演奏者 158名、観客 1,016名

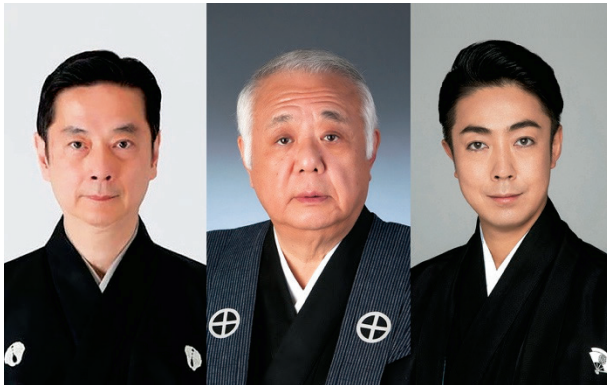
■企画概要/実施内容

墨田区を中心としたアートイベントのチラシをホールの軒先に配架し、SNSでも情報発信しました。担当スタッフを置いたことで発信力や満足度の向上につながりました。ストリートピアノすみだ川では、他のストリートピアノとの差別化や魅力創出の策として、これまでの演奏サポーターに加えて、大道芸人や隅田川マルシェとの協働を図りました。また、コミュニティ音楽に関心のある学生をスタッフに起用し、研修の機会を設けました。

■日頃の活動

「伝統と革新の共存」を基本理念に前身・門仲天井ホールにて活動を始め、2013年に両国に移転。現在に至るまで30年にわたり、ジャンルを問わない上演スペースとして、伝統芸能から、演劇、ダンス、実験音楽まで多彩な活動の舞台となり、国や世代を超えて、さまざまな人々が集う場となっています。

16 能 義太夫 歌舞伎 謡かたり「隅田川」



団体名 すみだトリフォニーホール

日程 8月13日(土)

会場 すみだトリフォニーホール

参加者数 1,230名

■企画概要/実施内容

すみだトリフォニーホール開館25周年特別企画として、「梅若伝説」ゆかりのこの地で、能・義太夫・歌舞伎の各界の第一人者のジャンルを越えたコラボレーションにより「隅田川」を上演。公演解説やアフタートークも行いました。

17 北斎小唄 其の貳 富嶽三十六景



団体名 明暮れ小唄

日程 ①東京公演 9月18日(日)

②高山公演 9月25日(日)

会場 ①すみだリバーサイドホール

②飛騨高山まちの博物館 永田酒蔵ホール

参加者数 ①180名

②150名

■企画概要/実施内容

「富嶽三十六景」の画像を次々と映写しながら、作品に合わせた小唄31曲を演奏した。江戸から富士山までの旅のストーリーを噺家・柳家緑太が落語仕立てで展開。福原千鶴社中の囃子の演奏も加わり、臨場感あふれる公演となりました。

18 北斎 百鬼見参



団体名 すみだ北斎美術館

日程 6月21日(火)～8月28日(日)

会場 すみだ北斎美術館

参加者数 18,404名

■企画概要/実施内容

人気の錦絵「百物語」や版本などから鬼に関連する作品を紹介し、鬼才・北斎がどのように鬼を捉え、表現してきたかに迫りました。また、貴重な北斎の肉筆画も初公開しました。

19 第16回すみだ川ものコト市



団体名 ものコト市実行委員会

日程 10月15日(土)

会場 牛嶋神社、隅田公園

参加者数 6,500名

■企画概要/実施内容

手づくり作家の作品販売、ワークショップ、ミニライブ、すみだの飲食店、墨田区産業振興課 PR ブースと、過去最高 143 組が出店。イベントファンに呼びかけて事前に制作したガーランドが広い会場をつなぎ、牛嶋神社～隅田公園を一体として活用するマーケットとなりました。

20 隅田川怒涛 2022 隅田川道中



写真: 鈴木竜一朗

団体名 NPO 法人トッピングイースト

日程 10月29日(土)、30日(日)

会場 隅田川(全長 23.5km)

来場者約 18,425 名

参加者数 ボランティア 40 名

参加団体 10 団体

■企画概要/実施内容

和太鼓集団・切腹ピストルズが、コロナ禍からの復興を願い、隅田川全長 23.5km を 2 日間かけて演奏しながら練り歩く「隅田川道中」を軸に、隅田川流域の各所では、遊覧船でワークショップを行う「渡し」や、地域団体や商店街が軒を連ねるマーケット「河岸」を展開しました。

21 Reboot of HOKUSAI 北斎が夢見た世界



団体名 リ・ファッションキャラバン

日程 9月29日(木)

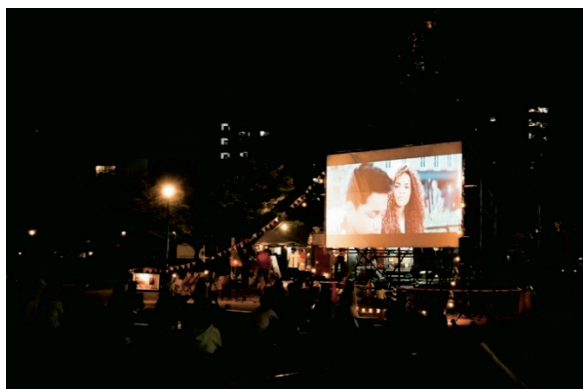
会場 曳舟文化センター

参加者数 160 名

■企画概要/実施内容

「自由な表現ができる現代日本に北斎がやってきたら…」という創作劇を着物の現代的な着こなしを提案するファッションショーを織り交ぜて上演。また、自分結い大江戸和髪学会による、純和装での盆ダンスを披露し、客席も一緒に踊っていただきました。

22 第2回すみだパークシネマフェスティバル 2022



団体名 すみだパークシネマフェスティバル
実行委員会

日程 9月22日(木)～25日(日)

会場 LATTEST SPORTS、
隅田公園そよ風ひろば

参加者数 2,500名

■企画概要/実施内容

隅田公園と近隣店舗にて、すみだのまちと人を身近に感じることのできる映画イベントを実施。家族で楽しめる作品やヒューマンドキュメンタリーを上映しました。連携企画として、「墨の市」によるマーケットや、アーティストによるライブも実施しました。

23 浅草・すみだ・東京スカイツリータウン 伝統・歴史と革新を光で照らす 発信プロジェクト



団体名 東武鉄道株式会社

①イルミネーション

日程 11月10日(木)～2023年2月15日(水)

②ワークショップ 12月3日(土)、4日(日)

会場 東京スカイツリータウン®、東京ミズマチ®、
すみだリバーウォーク®、
牛嶋神社および隅田公園の一角

参加者数 ①40,970名(すみだリバーウォーク点灯時間
通行者)
②166名

■企画概要/実施内容

東京スカイツリータウンと北十間川・隅田川周辺エリア一体でイルミネーションを展開。竹あかり総合プロデュース集団・CHIKAKENと竹林観光で人気の施設・若竹の杜 若山農場による竹あかり制作ワークショップも実施しました。

24 すみだであらくご 第三回 林家あんに独演会



団体名 林家あんに事務局

日程 11月5日(土)

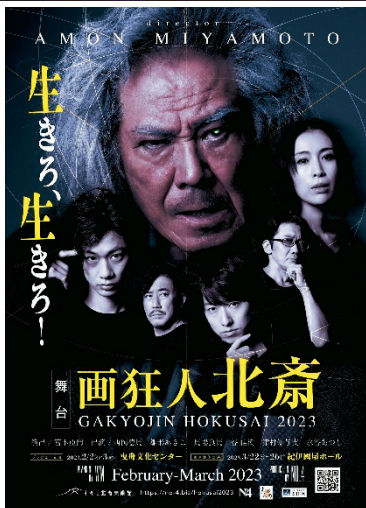
会場 本所地域プラザ BIG SHIP

参加者数 64名

■企画概要/実施内容

前座・林家たたみが「洒落番頭」、真打・古今亭圓菊が「掛け取り」、林家あんにが「松竹梅」と新作落語「北斎の娘 下」を口演しました。「北斎の娘」は、葛飾応為を主人公とする三部作で、2022年5月と8月に「上」「中」を初披露し、今回の「下」をもって完結しました。

25 画狂人北斎



団体名 株式会社エヌオーフォー

日程 2023年2月2日(木)、3日(金)

会場 曳舟文化センター

参加者数 1,000名

■企画概要/実施内容

「画狂人北斎」は、北斎の人間味あふれる生涯を描き、お栄をはじめ時代を超えて北斎に振り回された人たちを描く笑いあり涙ありの演劇作品。宮本亜門演出のもと、個性あふれる俳優陣により上演しました。

26 すみだ向島 EXPO2022



団体名 すみだ向島 EXPO 実行委員会

日程 10月1日(土)～31日(月)
※火・水曜を除く

会場 向島・京島・文花エリア

参加者数 7,747名

■企画概要/実施内容

長屋文化が築いた近所付き合いの魅力に注目し、来場者・出展者・住民が混ざり合う博覧会を開催。現代アーティストによる作品展示、建築・防災アートの展示・イベントに加え、今回は実施エリアの店舗との連携企画により、地域との関係強化や商店街への回遊を図りました。

27 ジョージ・スタマタキス個展「Ai-zone」



団体名 合同会社 UPN

日程 12月24日(日)～28日(木)

会場 すみだ北斎美術館 MARUGEN100(講座室)

参加者数 215名

■企画概要/実施内容

ジョージ・スタマタキス(ギリシャ)が、北斎ブルーにインスピレーションを受け、藍染を用いて制作した絵画作品「AI-ZONE」(秋吉台国際芸術村にて滞在制作)をすみだ北斎美術館で初公開しました。

